

神戸・東灘小 校舎屋上にはためく

東灘小学校（神戸市東灘区深江北町2）の校舎の屋上に、船舶同士の通信で使われる旗「国際信号旗」がはためいている。図柄が違う2枚の旗は、2枚一組で「安全な航海を祈る」を意味する。周辺はかつて漁業の町で、港にも縁のある同校。児童の平和と安全を願って今年春から掲げ、3日の始業式でも掲げる理由を改めて説明した。（那谷享平）

なまえ【 】

① 東灘小学校の屋上にはためく「国際信号旗」には、どんな意味がありますか？

--	--	--	--	--	--	--	--

② 戸田校長は、この旗にどんな思いをこめていますか？

③ 「わたしは元気です」の旗をあなたがデザインしてみましょう。

--

児童を見守る 船の「信号旗」

国際信号旗は、さまざまな模様の旗やその組み合わせで船舶同士が意思疎通をする世界共通の通信手段。スタジオリコのアニメ映画「コクリコブリ」の主人公の少女が「坂から」で、主人公の少女が掲げる場面でも知られる。校舎屋上での掲揚を思い付いたのは、昨年春に赴任した戸田信示校長（58）。もともと

船好きで、以前から個人的に所有していたものという。子どもが被害に遭う事件や事故のニュースが相次ぐ中、「児童の安全な学校生活を祈る」との思いを込めた。戸田校長は「深江の町はかつて漁港で、近くには神戸商船大（現神戸大）があった。旗を通して、子どもたちに地元のことを知ってほしいという願いもある」。児童に始業式などでこうした理由を説明し、7月の西日本豪雨の際には、旗の由来に触れながら自分の命を大切にしよう児童に呼び掛けた。

3年の小林凜空君（9）は取材で旗について聞かれ、「校庭で遊んでいるときや登校のときによく見える。あの旗はみんなの交通安全を守ってんねんで」と元気な声で答えた。

安全な航海、願い込め



2枚一組で「安全な航海を祈る」を意味する国際信号旗＝いずれも東灘小学校

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。